

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス フリールーム新今宮				公表日	令和8年	3月	5日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	5	公園等の公共施設の利用をしている	①施設の移転を準備している【2026年5月～7月中】 ②公民館や図書館の利用の検討	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		10	0	専門支援員の配置等	①引き続き優秀な人材確保をしていきたい ②当日欠勤者が多いため、支援員の体調管理の徹底			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	2	①角コーナーの設置 ②全体が見渡せる環境を作り				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		10	0	①手洗い、アルコール消毒の徹底 ②朝の掃除の徹底				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		10	0	学習部屋と遊戯場所を別にする環境整理を行っている				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	2	毎日、朝礼や終礼の時間をしっかりと作るようにしている	全職員に浸透できていないと考えられるため管理者筆頭に支援員一同、時間を有効活用して業務改善ができるように改善を図っていく			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2		全職員への浸透はできていない為、今回の保護者様の評価表を次回の会議のテーマ入れて話し合う機会を作る			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	半年に一回、フォーマット【目標や課題等の意見】を従業員に記載する機会を作っている				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5		実地指導の結果の把握が管理者等の一部であった為、今後同じ機会があれば全支援員に伝えるように報告をしていく			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	4	毎月研修は行っている 管理者が議題や研修テーマを作っている	研修期間をもっと増やして知識やスキルアップできる体制を強化していきたい			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	家族支援に力を入れてアセスメントの聞き取りを適切に行うことに尽力している	①家族支援担当支援員の情報の開示 ②開示された情報を基に支援の話し合い等を行っていく機会を作る			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	会議以外でもコミュニケーションを取る機会を作って最善な支援を考えている				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	5	強度行動障がいに関してはフォーマットを作り、行動心理の観察等を行っている	強度行動障がい以外でも癇癪を起す利用者様も適応行動の状況のフォーマットを作成し、癇癪を起してしまうパターンを理解できるように取り入れていきたいと考えている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	3		児童発達支援のガイドラインを熟知していない支援員がいるため、基礎的なガイドラインを読むことを迅速に進めて改善していく			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	話し合っって個別支援等を考えている				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	①飽きがきてネガティブにならないように 変化する意識を持って取り組んでいる ②郊外プログラムは毎週かぶらないようにし ている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	朝礼で話す時間を毎日30分確保している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	終礼時間を毎日10分～30分確保している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	①毎日の記録は徹底して行っている ②朝礼や終礼で気になったことに関しては議 題を挙げて話し合う機会を作っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	基本6か月に一回行うことを徹底している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		医療機関との連携を図る機会がないこともあるので医療機関との関わりを全支援員が持てるように機会を作っていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3	保育園や幼稚園の行事に管理者が参加し、その際に先生と連携を図る機会を設けている	インクルージョンの言葉の意味を評価表を見るまで知らない支援員が数名いたため研修等で専門用語の勉強も取り入れていきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2	4月から就学される児童に関しては2つの小学校に管理者が足を運び情報共有を行った	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	10	0		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	10		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	10		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	10		地域の児童発達センターの情報収集を行い、今後交流できる機会を作っていただけると考えている
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	10	利用児童の保育園、幼稚園に関しては連携を密に図っている	地域の保育園、幼稚園等の交流する機会は作ったことがないため、今後お祭りや保育園等が開催する行事の情報を収集し、時間を作って参加したいと考えている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	保護者様の都合が合えば週1で家族支援を行って状況の共有をし、課題の共有理解に努めている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	8		家族支援には力を入れているがペアレントトレーニングは実施する機会が少ない為、実際に来所して頂き、支援の様子を見ていただくことやその中でお子様への対応方法の助言、発案を行う支援にも力を今後入れていきたい	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	利用者様(児童)だけではなく保護者様の意向も聞く時間を電話や送迎、家族支援の際に作っている		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	家族支援に力を入れている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	10		要望、機会があれば父母会等の開催を考えていきたい。まずは保護者様へ保護者会があれば開催してほしいかアンケートを取れたらと考えている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	管理者がすぐ対応する体制を作っている	管理者以外の支援員でも対応できる体制を作っていきたい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	5	毎月一回は活動ブログをホームページにアップしている	多忙な保護者様はHUGにアップされた連絡事項等、目を通せていないことが多いため、メールやライン、口頭での共有もご家族様によって対応を変えていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	①HUGのシステム以外でもラインを使った情報伝達を行っている ②利用者様にもホワイトボードを使った視覚支援を実施している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10		地域住民の方に配慮しながら今後、社会活動の一環として地域の方達との関わりを考えたプログラムを考察していけたらと思う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	防犯カメラの設置	全支援員がマニュアルの理解に努められるように研修や理解を深める機会を作っていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	定期的に避難訓練を行っている	全支援員の避難経路の理解の徹底を行い安全に業務ができる体制の強化を行っていく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	風邪等で通院の際には保護者様へ服薬の確認を行い、服薬があれば情報を聞き取り、都度、全支援員への伝達を行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		現状、食物アレルギーの利用者様はいないので今後、利用されれば支援員全共通できるようにしていく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		全支援員が安全計画の理解ができるように研修等で確認する機会を作っていく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	車両事故や児童の怪我の共有、再発防止は都度行っている	怪我が繰り返し起きてしまうことがあるので再発防止の話し合いを生かして同じヒヤリハットや怪我が起きない対策強化をしていく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止の研修を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0			